令和7年度第1回江別市個人情報保護審査会
会 議 録

日 時：令和7年9月1日（月）
14：00～14：26
場 所：江別市民会館35号室

出席者： 田口会長・石黒副会長・龍田委員・小幡委員・吉見委員
東総務部次長・中村総務課長・半田総務係長・中村主任・濱主事
（傍聴者 0名）

1. 開会

田口会長： ただいまから令和7年度第1回江別市個人情報保護審査会を開会いたします。

2. 会長挨拶

田口会長： 私から挨拶いたします。

（会長挨拶）

3. 議事

（1）報告事項

ア 令和6年度個人情報保護制度の実施状況について

田口会長： それでは、（1）報告事項、ア 令和6年度個人情報保護制度の実施状況についてを議題といたします。

事務局から報告をお願いします。

事務局： 私から、令和6年度個人情報保護制度の実施状況についてご報告いたします。

1ページ、資料1「令和6年度情報公開制度実施状況及び個人情報保護制度実施状況集計表」をご覧ください。まず、（1）情報公開制度であります。後ほど情報公開審査会で説明いたしますので、ここでの説明は省略いたします。

下段の（2）個人情報保護制度であります。実施機関ごとの決定件数では、市長が実施したものについては、全部開示が3件で前年度比2件の増、一部開示が9件で前年度比9件の増、不存在による不開示が1件で前年度と同数、計13件で前年度比11件の増となっております。

病院事業管理者が実施したものについては、全部開示が0件で前年度比1件の減、一部開示が1件で前年度比1件の増、合計で前年度と同数となっております。

この結果、全体の決定件数は14件となり、前年度比11件の増となっております。

次のページ、資料2「情報公開及び個人情報開示請求件数の推移」をご覧ください。平成27年度からの請求件数とその推移をグラフで表したものであります。個人情報開示請求件数は年度により変動しておりますが、令和6年度の個人情報開示請求件数は13件であります。なお、資料1の決定件数14件と、個人情報開示請求件数が合致しないのは、1回の請求で2件の決定区分があったことによるものであります。

次に3ページ、資料3「令和6年度個人情報保護制度の実施状況」をご覧ください。個人情報開示請求の個別の内容であります。以下、一部開示及び不開示の決定をした案件について説明いたします。NO. 2の「〇〇世帯の生活保護にかかる次の文書等」につきましては、生活指導記録票、指導指示に際して作成又は交付された書面、打合わせメモ、稟議書、他の官公庁・マスコミ等の外部機関との連絡・協議に係る文書、生活保護法29条の規定による調査の囑託を行った際の調査依頼書、生活保護法4条2項の扶養義務者の扶養の履行について照会を行った際の照会文書、保護変更申請書、給与証明書、生業計画書、(保護)辞退届、求職活動状況報告書、につきましては、該当する公文書を保有していないため、不存在による不開示としております。NO. 2、NO. 4及びNO. 6からNO. 9、NO. 11から13につきましては、開示請求者以外の住所、氏名、電話番号などは個人に関する情報により不開示にしております。NO. 10につきましては、開示請求者以外の住所、氏名、電話番号などの個人に関する情報及び印影などについては、法人に関する情報により不開示にしております。説明は以上でございます。

田口会長： 報告を受けましたが、委員の皆様から質疑はありませんか。

吉見委員： 資料1並びに資料2を見る限り、令和5年度は個人情報開示請求の件数が減っており、それに対して令和6年度の件数は多かったといえますが、令和6年度の個人情報の開示請求が多かった背景、あるいは令和5年度の開示請求が少なかった背景として考えられることはございますでしょうか。

事務局： 令和6年度の個人情報の開示請求が多かった背景として、自分の個人情報が適切に利用・管理されているかを意識する市民が増えたと考えています。具体的にはNO. 6、8、9の戸籍に関する請求は、いずれも別の方からの請求であり、自分の個人に関する情報が不正に取得されていないか確認するための請求でした。そのような理由から個人情報の開示請求が増加したと考えております。

吉見委員： 承知しました。ありがとうございます。

田口会長： それでは、私から1件質問させていただければと思います。3ページNO. 7「江別まちなかプラザの保有個人情報、キャリアバンク株式会社から第三者提供された私に関する個人情報の全て。」とありますが、ここでいう個人情報とはどういったものでしょうか。

- 事務局： 江別まちなか仕事プラザは市がキャリアバンク株式会社に運営を委託している就労支援施設であります。本件は、就労相談時の対応に苦情が発生し、個人情報の開示請求がされました。市が開示した個人情報は、相談者や委託先とのやりとりを記録した対応記録、委託先から提供を受けた開示請求に係る文書などです。
- 田口会長： ありがとうございます。
- 龍田委員： NO. 1「申請者本人の平成 31 年以降の所得証明、課税証明の申請書類の写し一式」についてですが、通常の手続きで取得できる情報だと思っておりますが、個人情報開示請求で対応した理由を教えてください。
- 事務局： NO. 6、8、9の戸籍に関する請求と同様に、自分の所得証明、課税証明が不正に取得されているのではないかとということで申請がありましたので、個人情報開示請求で対応しました。
- 石黒副会長： NO. 7「江別まちなかプラザの保有個人情報、キャリアバンク株式会社から第三者提供された私に関する個人情報の全て。」とありますが、ここでいう「第三者提供」とはどのような意味でしょうか。
- 事務局： 資料には、申請者が開示請求書に記載した請求内容を原文で載せております。申請者が、キャリアバンクが市に対して情報を渡すのは第三者提供という認識で「第三者提供」と記載になっております。
- 小幡委員： NO. 11「保護申請時状況 札幌に転出した時の状況」とは、どのような請求かご説明頂けますでしょうか。
- 事務局： NO. 11「保護申請時状況 札幌に転出した時の状況」ですが、NO. 10の請求と関係しております。江別市から札幌市に転出した際に、江別市と札幌市での情報のやりとりに不信感を抱いていたため、江別市で情報がどのように管理しているかを知るために申請がありました。
- 石黒副会長： NO. 10、11の請求は関係しているとのことでしたが、NO. 2の請求は関係していないのでしょうか。
- 事務局： 関係しておりません。
- 田口会長： そのほか、委員の方から質問はありませんか。
- 吉見委員： 先ほどの私と龍田委員から質問があった内容と関連しますが、令和6年度の個人情報の開示請求が多かった背景として、自分の個人情報が適切に利用・管理されているか意識の高まりが見られるという観察をされているとのことですが、この傾向は今後も増加すると考えているのか、一時的な意識の高まりだと捉えているのか、どうお考えでしょうか。
- 事務局： 個人情報の保護に関する法律が法整備されたことにより、個人請求の申請方法が委任状でも対応可能になったことなどにより、増加する余地はあると考えております。
- 吉見委員： はい。質問の意図が国の制度など、どのような背景で市民の意識の高まりがあったか、を把握したかったので、国の制度と関連しているということであれば今後増加する可能性があるかと受け止めておきたいと思っております。ありがとうございました。

田口会長： そのほか、ご質問はありませんか。
(なし)

田口会長： では以上で、本件を終結いたします。
次に、(2) その他について、委員の皆様から何かございませんか。
(なし)

田口会長： その他について、事務局からありませんか。

事務局： 特別児童扶養手当所得状況届の誤送付について1件ご報告がございます。

個人情報保護審査会資料の4ページをご覧ください。発生した部署は子育て支援課であります。概要であります。令和7年7月30日に、特別児童扶養手当の受給資格を確認するための所得状況届(300件分)を各対象者に発送したところ、8月1日に、対象者の1名から自分の宛名とは異なる状況届が同封されている旨の電話連絡があり、子育て支援課で確認したところ、誤送付が判明しました。誤送付となった件数は3件です。次に、原因であります。各対象者への発送作業を行うにあたって、封入に係るチェック体制の不備により、封入担当者が、他の対象者宛ての状況届を混入し、発送してしまったとのことです。次に、対応であります。誤送付判明後、封入作業から勘案し、誤送付の可能性のある対象者へ全件、電話確認を行い、3件を特定しました。誤送付した対象者へは、謝罪、直接訪問、窓口持参等で状況届の回収。誤送付された対象者へは、経緯等を説明し、謝罪しております。次に、再発防止策であります。封入作業を行う際の職員間のダブルチェック体制を強化し、確認の精度を高め、再発防止に努めるようにしているとのことです。本件につきましては、8月22日の市議会常任委員会に報告済みでございます。個人情報保護委員会にはすみやかに報告を行う予定です。報告が終わりましたら、委員の皆様にもメールにてご報告させていただきます。

説明は以上です。

田口会長： ありがとうございます。報告を受けましたが、委員の皆様から質疑はありませんか。

小幡委員： 江別市の様式では、一体どのような個人情報が書かれていたのでしょうか。

事務局： 受給者の名前、住所、生年月日、電話番号、所得状況、対象児童の氏名、生年月日などが記載されておりました。

田口会長： 誤送付の対象者から理解は得られたのでしょうか。

事務局： かなり厳しい苦言をいただきましたが、誠心誠意説明を行い、謝罪を終えたと情報を得ています。

田口会長： もう1点私から確認させて頂きたいのですが、封入に係るチェック体制とは市の正職員が行っていたものなのでしょうか。それとも外部委託で行っている作業でしょうか。

事務局： 市の正職員が作業しておりました。

田口会長： ありがとうございます。他に質問はございませんか。

吉見委員： 個人情報保護委員会に報告した後、我々に報告があるとのことですが、普段も

市民の方に送付する個人情報等を含む郵便物の封入作業についてのチェック体制は、どのようなものなのでしょうか。

事務局： 業務分担といたしましては、主担当と副担当の2人体制として業務を進めていましたが、今回、副担当が不在の状況となっていたため、他の職員へ応援要請をしないまま、主担当1人で作業をし、ダブルチェックがないまま発送してしまったようです。本来ならば、主担当と副担当の2人でダブルチェックを行い進めるのが正しい業務の進め方だったと思います。

吉見委員： 承知しました。本来ならば主担当と副担当がいるので、ダブルチェック体制がとれるということですね。

田口会長： 他にご質問はございませんか。

(なし)

4. 閉会

田口会長： 以上をもちまして令和7年度第1回江別市個人情報保護審査会を閉会いたします。お疲れ様でございました。